

今問われているもの・・・「正義」観 「教え子を戦場に送るな」は悪？

岡山高退教会長 萱 栄次

先日、遅ればせながら、現在に至るまで気がつかなかったことを発見しました。それは、最近起こった事件からです。

福祉施設での元従業員の犯した空前の殺人事件です。その犯行の理由が今までの常識では、およそ考えもつかないものでした。「その人や家族のため、さらには社会や国のため・・・」と行為の正当性を主張したのです。マスコミは「歪んだ正義」観と大きくとりあげました。

「歪んだ正義」。なぜか私には、この言葉が強く心に残り、結果として、新しいものの見方を教わることとなりました。これまで別々にしか見えなかったものの同一性が見えてきたのです。

秘密保護法。「戦争法」原発再稼働、テロ問題など、それぞれの問題を、今までは、平和で安心して暮らせる私たちの生活を破壊するものとしての共通性でとらえ、とりくみをすすめてきました。

ところが、それらはそれぞれの問題（共通性）ではなく、「歪んだ正義」として同一のものではないかと気がついたのです。どの問題も推進者は「人々のため、社会のため、国のため」と主張しているのです。

一日も早く、真の正義観で統治される社会の実現をめざして、高退教も頑張っていきたいと思っています。

自民党 | Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

閉じる

印刷 文字サイズ ああ

学校教育における 政治的中立性についての 実態調査

党文部科学部会では学校教育における政治的中立性の確定的な確保等を求める提言を取りまとめ、不偏不党の教育を求めているところですが、教育現場の中には「教育の政治的中立性はない」、あるいは「子供たちを戦場に送るな」と主張し中立性を逸脱した教育を行う先生方がいることも事実です。

学校現場における主催者教育が重要な意味を持つ中、偏向した教育が行われることで、生徒の多面的多角的な視点を失わせてしまう恐れがあり、高校等で行われる模擬投票等で意図的に政治色の強い偏向教育を行うことで、特定のイデオロギーに染まった結論が導き出されることをわが党は危惧しております。

そこで、この度、学校教育における政治的中立性についての実態調査を実施することいたしました。皆さまのご協力をお願いいたします。

第37回定期総会は、岡山生涯学習センター（ミーティングルーム）で7月3日（日）開催。梅雨のさなかにもかかわらず晴天と真夏日が続き、当日は、今年最初の猛暑日でした。

オープニングは、恒例の濱越唯利さんのアコーディオン伴奏に

よる歌声。今年の一曲は「一本の鉛筆」。手作りの楽譜には手製の資料も添えられていました。「一本の鉛筆があれば／戦争はいやだと私は書く」という歌詞を持つこの曲は、1974年第1回広島平和音楽祭で美空ひばりのために書き下ろされたもの。生涯歌った曲の中からひばり自身が選んだ好きな歌10曲の中の一つに「一本の鉛筆」を挙げたというエピソードなどが紹介されました。



議長には、岡田憲朗（旭東）井上俊清（岡山、備北支部山本浩さんの代行）の両氏が選出され、萱高退教会長挨拶、三上高教組委員長の来賓挨拶につづき、総会の議事は始まりました。

18才選挙権の実施、参院選投票日目前という情勢を踏まえて、活動計画の中には、「安倍自公政権の暴走を止め、安全保障関連法制（戦争法案）の廃止と立憲主義の回復、個人の尊厳を目指す政治勢力の結集をすすめる運動にとりくみます。」の一項が新たに加えられました。

また、会員の高齢化が進む中、より身近な細やかな要望に即した「陽だまり」になる高退教をめざし、親睦と交流活動の充実をはかること。近年360人前後で推移している会員数（総会時点359人、新入会10名）を400人に増やすことを目標に「会員増やし」の取り組みを強めながら、高退教の組織と運動の新しい発展を目指すことを再確認しました。

各分野で活躍されている参加者からの発言も相次ぎました。「教育文化センター」の活動と今後の課題について、事務局長の岩佐仁志さんから。「子育て教育相談ネットワーク」「AALA」などの活動に関わる正保宏文さんは、生活苦にあえぐ高校生が少なくない実態と岡山高教組修学援助会の取り組みの必要性に言及。武田芳紀さんからは「自然歴史探訪」の備西地区の取り組みが報告され、「作品展」も含めて現職（高教組）にも参加を呼びかけてはという提案もありました。また、高垣章二さんから「記憶遺産」とりわけ戦争の記憶を次世代に継承していく取り組みとして、会報の原稿を依頼してはどうかという貴重なご意見もいただきました。

最後に、新年度役員は全員留任（旭東支部の1名は未定のまま）を承認して、総会の議事は終了しました。（居郷毅）

なお、総会で選出された新年度役員は、次の通りです。

2016 年度役員

会長	萱 栄次		
副会長	難波 娃子	小林 軍治	
	三上 雅弘	(岡山高教組委員長)	
事務局長	藤原 斌		
事務局次長	河原 和子	小川 澄雄	
	藤原 洋平	山本 和弘	
	美甘 晃	居郷 毅	
幹事			
岡山支部	井上 俊清	衣笠 祥子	
	島田 宏恵	難波 欽子	
備南支部	綾野 保晴	佐藤 菊江	
旭東支部	岡田 憲朗		
備西支部	清水 親義	西 功	
備北支部	土井 彰	山本 浩	
美作支部	山本 美佐緒	草地 浩典	
会計監査	日高 忠男	田中 博	
顧問	岩本 浩可	藤野 修二	鴨川 恵美子
	高垣 章二	中田 啓司	

午後の学習と交流

午後は、村田秀石氏（倉敷工業高校教諭）を講師に迎え、「18歳選挙権と教職員評価制度の現状と課題」について学習と交流を深めました。

総会で決定された2016年度活動計画に「多忙化と健康不安、教職員評価・賃金リンク、子どもの発達と教育をめぐる諸課題の深刻化、などのもとで、悩み、困憊して、心身の不調に苦しんだり早期退職を余儀なくされる現職も少なくない状況を打開する上で、退職者の経験に基づく知恵や力を、つながりや条件を生かして発揮していくとりくみもますます重要です。」とあります。これを踏まえ、現在の学校現場と現役教職員の生の姿を、まず知ることが必要との問題意識から設定されたテーマでした。期待通り、私たち退職教職員が思いも及ばない、いまの現場の実態を生々しく知ることができました。

講演の第1の柱は、「18歳選挙権」。

村田氏は、総務省・文部科学省発行の「私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために」と題されたパンフレットや、文部科学省の「高等学校等における政治的教養の教育と高等学校等の生徒による政治的活動等について」（昨年10月29日）といという通知文書、また教科書出版社が発行している学習教材（「Work Sheet 18歳選挙権に向けて」 清水書院）などを題材に、ご自身の実践例や悩みも交えて、現場でどのような有権者教育が求められているか、その課題や問題点とともに、新たな可能性について提示されました。

文部科学省は、1970年代以来頑なに禁止し続けてきた高校生の校外での政治活動を、このたび、18歳選挙権導入に伴って認めま



した。その一方で、今年1月の教育現場向けの「Q&A」で事前届け出制も容認しています。事前届け出義務づけに固執する愛媛県などの突出した動きも報道されていますが、岡山県教委は「学校の判断にゆだねる、ただし届け出制にする場合は県教委と相談する」という態度だそうです。

権力や行政による不当な干渉や統制をはねのけながら、子どもたちとともに生き生きと政治が語れる真の有権者教育＝主権者教育の発展に向けて、現職の皆さんの奮闘を応援したいものです。

講演の第2の柱は、「教職員評価制度」。

高教組や父母・県民の憂慮・反対の声を押し切って、「教職員の育成・評価システム」が導入され、評価に基づく「賃金リンク」も現実に適用され始めています。村田氏は、県教委による「実施要項」を示しながら制度の概要をわかりや



すく説明してくださいました。

また、ご自身の「自己目標シート」や、校長による「勤務評価シート」の現物コピーも紹介しながら、生々しい現場の様子を語られました。

総会に出席されていた皆さんにとっては、「さぞや現場は窮屈な事態がすすんでいるのだろう」と、うすうす想像しておられた以上の、別次元、別世界のような現場状況で、改めて大きな衝撃を覚えられた方も、少なくはなかったようです。かくいう私自身も、例外ではありませんでした。

質疑・討論では、「主幹教諭・指導教諭」などという新たな職が置かれているそうだが、具体的には？」とか、「もし私がタイムスリップして今の学校につとめるようになったとしたら、とても続くまい。今の若者は、どうやって耐えながら状況に対応しているのか？」等の率直な疑問への応答があり、職場のなまなましい状況がいっそう明らかにされました。



県は、あくまでも「教職員の育成」をめざすシステムだと称しており、毎年続けて特定の人物に高い査定（また低い査定）が固定することは、「育成」の趣旨に反すると認めている旨、村田氏は指摘されました。これも突破口の一つとしながら、教職員間の分断や、職場の協力体制の破壊、上意下達の管理体制の強化、等など、賃金リンクの害悪を除去する具体的なとりくみを応援したいと思います。

それだけに、子ども・生徒の健やかな成長・発達をめざすという目標を明確にしながら、職場の同僚性をより大切にし、お互いの教育力量を育てあって、日常の教育活動

の質を高めていくこと、その基礎となる職場の仲間づくりをますます重視してとりくむことなどが、今こそ重要と感じました。

競争と統制の強化がすすむなかで、ともすればバラバラに分断・孤立させられている現職教職員の皆さんが、もっと元気と安心感をもって目の前の教育課題に立ち向かえるように、一市民として、教職経験者として、できる限りの支援・協力を寄せていきたいものです。また、そのあり方を探っていくことが求められているのでは、と考えさせられました。

(山本和弘)

注目を浴びた絣織物—糸繰りから織り、仕立てまで

第18回作品展をふりかえる

6月29日（水）～7月3日（日）、例年と同様岡山県生涯学習センターを会場に岡山高退教の第18回作品展を開催しました。6月28日（火）が作品搬入でしたが、当日会場に宅配便で作品（申込用紙同封）が届いたり、作品展のことをすっかり忘れて友人からの連絡を受けて作品を届ける会員がいたり、いかにも「高退教らしい」搬入となりました。

「高齢のため新しく作品が作れなくなった」と出品を断念する会員もあり、出品者の人数はやや減少しましたが、会場一杯に展示された作品は力作ぞろいで、充実した作品展となりました。



今回の作品展で見学者の注目を浴びたのは、糸繰りからはじめ、織、仕立てまでを完成させた大人用、子供用の絣着物の作品群でした。女性たちの「スゴイ」「スゴイ」の声が印象的でした。また、「会員・支部の活動紹介コーナー」を設置したことも注目を集めていました。

今回、作品展の案内はがきを用意し出品者に配布しました。「はがきをもらって見に来たよ」という人も何人かあり、はがきの効果を一定感じましたが、鑑賞者の爆発的増加にはつながりませんでした。鑑賞者を増やすいっそうの工夫が求められます。（小川澄雄）

なお、出品作品の一覧は次ページのとおりです。

第18回作品展出品一覧

【絵画】

「野の花」 3	三宅通明
「水門のある風景」	島田宏恵
「早春の湖畔」	島田宏恵
「椿」	島田宏恵
「果物」	森定博美
「ぶどう」	森定博美
「バラ」	鈴木操子☆
「コスモス」	鈴木操子☆
「山里の春」	三宅瑞枝☆
「裸婦」	渡辺暉夫☆
「秀吉の大阪城」	水間正雄
「幸村と父が流された寺」	水間正雄
「当時と今の上田城」	水間正雄
「西本願寺飛雲閣」	水間正雄
「由加山蓮台寺1」	濱越唯利
「由加山蓮台寺2」	濱越唯利
「並び立つメタセコイア」	濱越唯利
「椿」	武田昭一
「牛窓漁港」	武田昭一
「ジーンズガール」	武田芳紀
「初夏」	武田芳紀
「暖」	武田芳紀

【写真】

「うしろ姿」 2	荒木敏和
「水路をゆく」	荒木敏和
「スタンドグラス」	荒木敏和
「下津井のたこ物語」 3	藤原美代
「初夏の風」 2	藤原謙次☆
「葉っぱのいたずら」	藤原謙次☆

「テオティワカン太陽のピラミッド」 2	犬飼 繁
「2015年8月30日、国会前」 2	犬飼 繁
「野鳥写真」 2	三宅茂子
「匠」	赤座 匡
「秋の陽ざし」	赤座 匡
「レッツジャンプ」	赤座 匡
「道北エリアの旅」	井上俊清
「ちひさきものはみなうつくし」	山本和弘
「2016」	山本和弘
「緑雨の智頭ー自然歴史探訪」	山本和弘

【書】

「長楽無極」	小川澄雄
--------	------

【木工】

「硯箱」 3	花谷純夫
「櫨四方転び花入れ」	島田保弘☆
「櫨六角椎菓子器」	島田保弘☆
「櫨寄木小箱」	島田保弘☆

【ペーパークラフト】

「ジオデシック・ドーム」(新聞紙アート)	綾野保晴
----------------------	------

【工芸】

「自然からの贈り物」	難波欽子
------------	------

【服飾・手芸】

「手提げ袋」 2 (ジーンズパンツリメイク)	田中豊子
------------------------	------

「エプロン」 (ジーンズパンツ
リメイク) 田中豊子
「セーター」 3 森定博美
「バッグと小物」 (畳のへりで作
った) 島田宏恵
「手織りのブラウス」 河原和子
「手織りのワンピース」
河原和子
「パッチワーク キルトのソファ
ーカバー」 河原和子
「絣織の着物」 鳥取純子
「絣織の男児着物」 鳥取純子
「絣織の日笠」 鳥取純子
「手紬糸の半幅帯」 鳥取純子
「絣織の女児着物」 2 鳥取純子

「パッチワーク手さげ袋」 衣笠祥子
「御殿毬」 数点 衣笠祥
子
「パッチワークのタペストリー」
金田光代

【会員活動コーナー】

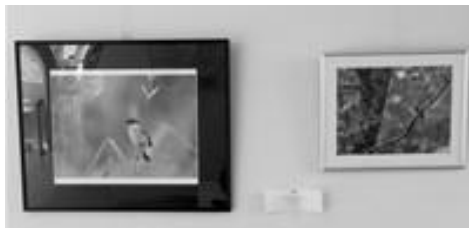
「支部交流会より」

・備北支部

・岡山・旭東支部

「中国帰国者の日本語教室」

小林軍治、井上進夫

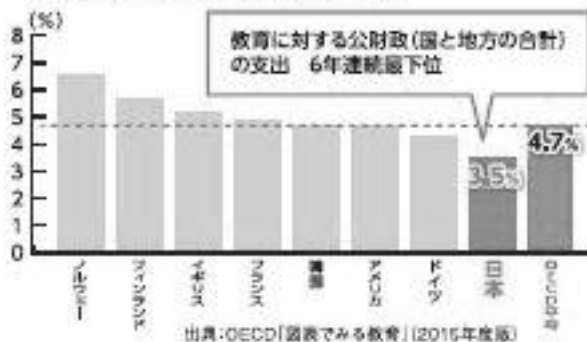


教育の機会均等の保障を今こそ

正保 宏文

高教組が教育署名に取り組みだして28年目になるが、私自身ずっとこの運動にかかわってきた。運の悪いことに、授業料の無償化が実現した年に、四男が大学へ入学したために、その恩恵を私自身が受けることはなかった。教育費の父母負担の軽減をとというのは、経済格差が広がる中で大変切実となっている。ところが、民主党政権から安倍政権に代わると910万円で線引きが行われた。その結果、生徒は家庭の所得証明等の書類を学校へ提出しなければならなくなった。市役所へ行って書類をもらうためには、親は仕事を休む必要がある。会社

日本の教育機関への公財政支出をOECD平均並みに
公財政教育支出の対GDP比(2012年)



によっては、1か月休まなければ、皆勤賞がもらえるところがある。そんなことから、面倒な手続きをして授業料の無償化を選ぶよりも皆勤賞

を選ぶ親がいるのも事実である。煩雑な手続きをすることができず、授業料を払っているのである。

私は、高教組が中心となって立ち上げた高教組修学援助会にもかかわってきた。修学援助会ができて、8年目を迎えている。これまでに3万円を支給した生徒は、110数名に上る。昨年の選考会では、家が全焼した生徒が申請していた。その書類を見たときに、「この生徒には支給してやらなければ」と内心思ったのだが、もっと悲惨な生活を余儀なくされている生徒がたくさんおり、結果的には、全焼の生徒の家には何らかの火災保険が入るのではないかとということで、支給しないことになった。家族全体の収入が、100万円にも満たない家庭



がいくつもあったのである。それに加えて、家族に病人がいたり、働くことのできない障害者がいたり、親のリストラ、会社の倒産など目を覆いたくなるような厳しい現実の中で暮らしている

る生徒が、幾人もいたのである。この子にも、この子にも3万円を支給してあげたいと思っても、高退教の先生方や、現役の先生方が寄付してくれる浄財は、限られている。何とかしてあげたいという思いはあっても、10数人の生徒に支給するのが精いっぱいである。断腸の思いで、毎年支給するかどうかの線引きをしてきた。政治は本来、弱者のためにある。ところが今の政治は、弱者のところに“幸せ”が行くのではなく、“しわ寄せ”が行っているのである。

今、教育費をめぐる世界の大きな流れは、子どもの権利条約に象徴されるように、大学まで教育の無償化というのが、当たり前になってきつつある。日本のように、大学を卒業したら、奨学金という名の“教育ローン”が重くのしかかるような国には、明るい未来はない。経済的に恵まれない子どもたちを救うためにも、給付制の奨学金制度の創設が、急務となっている。そして、子どもたちが、安心して学べるよう日本国憲法が謳う“教育の機会均等”が保障される社会を実現していかなければと思う。

「とりくみをすすめながら新しいスローガンを」

—全退教第26回総会に参加して—

小川 澄雄

6月1日～2日東京全労連会館で開催された全退教第26回定期総会に参加しました。岡山からは、全退教幹事の小林軍治先生と私・小川の二人が出席しました。全国各地の退教組織の代表がそれぞれのとりくみを意気高く報告。私自身は全退教総会へは初めての参加で、大いに刺激を受けて帰ってきました。

2日間の総会全体の報告は「全退教ニュース」第73号に譲り、私は1日目全体会討論での私自身の発言内容を中心に報告します。

発言項目として当初考えていたのは、①パンフ「おめでとう18歳選挙権 未来に生きるあなたに」の作成と配布・活用のとりくみ、②カンパによって運営している高教組の奨学金制度と高退教の協力、③岡山における戦争法廃止を求め立憲主義をとりもどす運動、④役員の世代継承と会員ふやし、⑤議案書に出てくるいくつかの言葉に対する違和感、などでした。ところが、いざ発言をしてみると、①・②の項目を話していると、発言時間あと1分を示すリンが鳴ってしまいました。しかたなく③と④はカットして、一番話したかった⑤を大急ぎで発言しました。

一つ目、議案書のあちこちに「憲法を守る」という表現が出てくるけれど、「憲法を守る」責任があるのは我々国民ではなく権力の側であることを指摘。我々国民としては、「憲法を活用し」「憲法を生活にいかす」意識が重要なのではないかと話しました。

二つ目、「有事に退職教職員は青年になった」との表現。比喩的表現なのはわかるが、運動（とりくみ）を活発にするのは“若者”という思い込みが意識の奥底にあるからこういう表現が生まれたのではないか。“若さこそ善”という意識がありはしないか。むしろ、我々は自分が年寄りであることを素直に認める必要がある。そのうえで、老いも若きも手を携えて安倍暴走をストップする運動に総がかりでとりくんでいく、その意識こそが自然なありようだと思うと話しました。

三つ目、「教え子を再び戦場に送らない」の誓い。

教師なりたてのころ、この言葉を胸震える思いで聞いたし、涙が出るほど感動した。そして、この言葉に導かれて平和教育にとりくんできた。この言葉は、私の教師生活の道しるべであった。



しかし、昨年から今年にかけての運動では、正直この言葉が色あせてみえた。戦争法廃止を求める運動高揚の中、とりくみを励ますスローガンが色々生み出された。ママの会の「どの子ども殺させない」、この言葉には参った。正直負けたと思った。

朝鮮戦争、警察予備隊・保安隊・そして自衛隊結成・増強に対するたたかいでは、「教え子を再び戦場に送るな」のことが最高の励ましになったことは間違いない。しかし、いまママの会の「どの子ども殺させない」の言葉と比べると、教師のセクト主義・

狭さを感じてしまう。その意味で私たち退職教職員は、2014年・

15年・16年・・・とつづくたたかいに相応しいスローガンをまだ生み出せていないのではないか、と思わざるを得ない。とりくみを進めながら新たなスローガンも生み出し、立憲主義をとりもどしていきましょう。と、発言を結びました。

ある意味、みんなの気持ちを削ぐような発言をしてしまいましたが、それでも参加者は他の人々の討論と同様、私の発言へも拍手をしてくれました。感謝です。



平素の行いは「極めて良好」？

高退教自然歴史探訪 鳥取県智頭町への旅

今回の歴史探訪は、参加者の平素の行いの善し悪しが問われるような展開でした。もし「善し」ならば雨にたたられずに済むだろうし、そうでなければ、雨の中の行進も覚悟しなければならない、空はそんな雲行きでした。

スタートで思わぬアクシデントに見舞われました。事故のせいで、瀬戸大橋線が止まったのです。これによって、参加を諦めなければならなくなった人、奥様の車のお陰で岡山駅まで辿り着けた人と明暗が分かれてしまいました。

バスは岡山駅を出発。参加者が途中乗車する道の駅「くめなん」を目指します。空は曇ったままで、先行きの不安はぬぐえません。

やがて鳥取県に入り、伝統的建造物群保存地区の上板井原集落を目指す行程に差し掛かります。対向車が来たら一発アウトの細い道が続きます。「対向車に会いませんように…」と祈り続けていましたが、なんと前方に対向車が現れ、「アッ！」と思って体を前に乗り出したところ、そこはやや道幅の広いところであることに気づいて、ホッと胸をなでおろします。



上板井原集落では、水車で精米し、かまどで炊いたご飯のいただける食事処「火間土（かまど）」を目指して徒歩移動したのですが、先行隊が「火間土」の入り口前を通り過ぎて、人家のほとんどない地点まで進んで、そこから引き返

すという小さなアクシデントもありました。



「火間土」はまさに古民家、歴史を刻んだ座敷に我々一行23名がドーンと陣取り、他のお客様にはやや肩身の狭い思いをさせているのではと案じながら、何が運ばれるかと期待しながら待ってい

ると、ドッと歓声が。目の前に現れたのは「お焦げのご飯」でした。忘れかけた昔の記憶が呼び起こされたのでしょうか。

出てくるご馳走は無論平素は口にできないものばかりで、一品一品に感心しながら山菜料理を堪能しました。

石谷家住宅では、外観もさることながら、吹き抜けの土間に一步足を踏み入れるや、頭上に架かる巨木の圧倒的な存在感に、思わず息を呑みました。日本各地に往時の栄華を偲ばせる名家は多々ありますが、これほどの巨木を使った建築物は珍しいのではないのでしょうか。敷地面積は約10000平方メートルだそうで、中心には池泉回遊式日本庭園があり、それを取り巻く部屋数が40、土蔵が7という考えられないほどの巨大な邸宅でした。



智頭宿の散策は、思い思いに別れての行動でした。公開されてはいませんが、智頭のもう一つの名家である米原家(米原昶氏生家)を目指し、その付近を散策された方もいました。映画「絶唱」を二度も監督した西口克己監督を記念する西口克己映画記念館を訪れた方もおられたでしょう。

最初に書いた、「参加者の平素の行いはどうだったか」について最後に書いておきます。これについては、「極めて良好」と言えるのではないのでしょうか。途中でパラパラに見舞われることもありましたが、それでも潤す程度だったのです。

ところが、帰りのバスに乗ってからは、豪雨を思わせるほどの激しさ。もしこれが見学の途中だったらと思うとゾッとするばかりでした。

会を終えてから、喉を潤しに向かった面々もいたようです。「探訪の後一杯！」という付録があるのも魅力的だとは思いませんか。

(清水親義)

「自然と共に生きた山里と繁栄を偲ぶ宿場町に日本人の原風景を訪ねる旅」

◆主な探訪先 <鳥取県智頭町>

○上板井原集落(県指定伝統的建造物群保存地区)

○智頭宿 山陰と山陽をつなぐ交通の要衝であった智頭宿。

○石谷家住宅(国指定重要文化財)

皆さん、いかがおすごしですか？

2016年 高退教への返信はがきより

岡山支部

青山 一郎

足を悪くして散歩もできず、悶々とした毎日を送っています。

赤木 洋子

憲法ないがしろの安倍内閣に怒っています。今度の選挙、日本の命運がかかった大事な選挙です。子や孫に今のこんな世の中残せません。立ち位置で頑張ります。

安東 誠

2016年度活動計画に全面的に賛成です。みなさんの一層のご活躍を願います。米寿を迎えましたが、隠居などと言っていない状況です。

石原 律子

いつもお世話になります。
ご盛会をお祈りいたします。

井上 けんじ

暑くなってきました。国会議員選挙もアツくなっている状況

でしょうか？ふと誰一人として投票に行かなければ（ダメじゃん）（民主主義に反するけど）無政府主義的ながら与党大批判に通じるのではないかと思ったりします。万歩計で岡山から東京へむけて歩いた距離は、計算上は今頃横浜あたりまで歩いているペースです。健康に気をつけております。でもあちこち痛い所ばかり。近所の人たちも何人も余命宣告された人ばかり。次は沖縄にむけてあるのかな。

板津 定邦

・家庭菜園を楽しんでいます。有機肥料、無農薬栽培にこだわってきましたが、今年初めて玉ねぎにベト病抑止薬を何回か散布しました。全滅は免れましたが、収量は豊作の昨年の半分以下です。他の野菜はいずれもよくできました。

・安倍政権の立憲主義を無視した暴走には心底から怒りを覚えます。麻生大臣の「ナチスの手口に学んだらどうか」の通りに事は進み、不安が現実味を帯びて

きました。それにしても、首相以下、品性・資質を欠如した大臣・国会議員・首長らのなんと多いことでしょう。

磯部 作

現在、放送大学の客員教授をしています。中高年の方も熱心に受講されるので「学び」や「研究」について考え直しています。14年間介護などをした認知症の妻が1月に亡くなり独り暮らしです。庭の草取りなどもありますが、環境問題や地域問題、地域再生や地域づくりなどについて、もう少し調査研究をと考えています。

居郷 毅

退職3年目は、興陽高校非常勤講師9時間。病院通いと芝居（劇団響き）は相変わらず…

井上 俊清

夜明けとともに鶯の囀りとともに目覚めて walking へ…健康な毎日です。孫守りのいらぬ6月、今がチャンスと TENT 持参で北海道の旅を楽しんでいます。

内田 都美子

足弱と上手に付き合ってます。日々です。まあ元気な方かな。世間の事件に腹を立てる事がまだまだあるという元気ですが。

岩上 隆雄

体調不良です。（難聴・目眩）

岡崎 弥生

この日は90歳の母を連れて父の墓参りに松山へ行っています。今年限りかなあと言う母は、それでも楽しみにしているようです。

ご盛会をお祈りいたします。

岡本耕治

欠席してすみません。あいかわらず、ボーイスカウトをしています。

大西 淑江

お世話になります。介護中心の日々で、土・日はデイサービスが休みなので家で過ごしております。なので土・日の外出はまなりません。ご盛会をお祈り申し上げます。

岡田 忍啓

最近休館日を除き、毎日のように図書館に通い、活字に親しんでいます。ただ、自転車や車（雨天時）で往復することが多く、運動不足気味です。

岡本 逸郎

いつも勝手をして申し訳ありません。病院通いが増えました

が、一病(三病ぐらいありますが)息災と思って、楽しく生きようと思っております。

小川 澄雄

岡山工業高校に非常勤講師として週2日通っています。2年生の世界史を担当しています。趣味の古文書は楽しくやっています。「岡山古文書を読む会」では“総務”という役をもらい、4月開講の入門講座では“講師見習”も仰せつかりました。

博物館などに展示している文書にあたっていると、読めない字がいくつもあり、「まだまだだなー」と上達を実感できずにいます。

5月26日～28日にはNHK学園スクーリング「古文書巡見越前諸藩と海の道」に参加してきました。

小合 真由美

昨年度は無職でしたが、今年度は一昨年度と同じく関西高校に非常勤で出ています。

金田 光代

テレビでもスポーツ観戦が好きで、バレー、野球、サッカーなどよく見ます。6月4日ファジアーノ戦を見ました。2:1で勝ったのですっかり気分が良くなりました。

河原 和子

昨秋兄を亡くしました。1ヶ月ほど入院していましたが無事退院、快気祝いもし、安心していました。しかし1ヶ月ほどで急に去ってしまいました。父は4歳の時、母は90歳を越えていたので、別れの気持ちは別で悲しいです。元気でなければと心身鍛錬(?)に励んでいます。

駒越 丘

非常勤講師2年目で仕事を続けています。義母の介護もありますが、今までできなかった自分自身の学び(教育心理・語学・自然科学…)や体力維持のためのウォーキング等を楽しんでいます。

河内 郁子

今都内では、舛添都知事の「政治と金」をめぐる問題が次々と明るみに出て大問題になっています。政治資金を流用した家族旅行や飲食、絵画・婦人服・マンガを含む書籍の買いあさりなど、次々と聞かされ都民はあきれかえっています。この問題を宣伝カーで宣伝したら、多くの人が手を振ったりして声援を送ってくれました。

小林 軍治

・「安保法制の廃止と立憲主義の

回復を求めるおかやまっぽんの会」(略称:おかやまっぽん)に参加。野党共闘に尽力したこと。(4月21日に候補者の一本化なる)

- ・全退教の中国・九州ブロックの幹事として、東京へ6回、福岡・山口へそれぞれ1回と総会、幹事会、学習会に参加したこと。

- ・毎週火曜日、金曜日、土曜日に、中国帰国者の日本語教室へ講師としてかかわっていること。(毎回楽しみです)

- ・息抜きは岡山南高校の女子ソフトボール部、広島カープの応援と(勝ったときはビールがおいしい)、韓国ドラマの再放送を見ること。(現在はトンイと商道)

- ・この二・三年は安倍さんの「おかげで」大変充実した、忙しい日々を送っている。

定宏 輝海

会報に退職後の生活を書かせてもらっています。私の拙い文を読んでいただいている方に感謝致します。意外な方(?)より連絡があり、仲間の輪を強く感じます。今年は近所にできた「もみの木」保育園より大量の食材を頼まれ、園児たちに栄養ある野菜、果物などを届けようと思えるだけ無農薬で取り組んでいます。神経痛になったり、“ぎっくり腰”になったりと体の痛みとたたかいながら充実した日々

を過ごしています。

島田 宏恵

週2日の勤務をアクセントにまずまず健康で平穏な日々を送っています。しかし最近物忘れや体力の衰えを感じることがあり、なるべく体を動かし、外に出るよう心がけています。申し訳ありませんが当日は勤務と重なり欠席いたします。

白神 憲一

現在岡山理科大学で教職課程を教えながら備前市北部の八塔寺での天文台建設にも精を出しております。八塔寺では星空の観望会のボランティア活動にも参加しております。7/2~7/3はその八塔寺におりますので欠席させていただきます。

末石 範子

いつもお世話になります。実家通いのヘルパー、農婦3年めになります。両方とも上達しません。

鈴木 實

役員の方々お疲れさまです。

曾田 康戴・和子

期日をはるかに過ぎての返信、ご迷惑をおかけします。総会たしか7/3でした。7/3は子どもの権利報告作成委の学習会。当

日と重なっております。主催団体であるため、そちらに参加します。申し訳ありません。

田中 豊子

・退職してかなりの年が経ちました。近くの人たちと関わりや、公民館のクラブに参加するようになって、充実していますが、かなり多忙に過ごしています。体調をくずさないように気をつけてその日、その日を精いっぱい過ごしています。

・議案を読みました。賛同します。

立石 喜平

通院・投薬多い生活です。作品展の協力も総会出席もできませんが、盛会を願っております。

武井 靖

元気にやっています

津嶋 宣夫

ご無沙汰しております。まだまだ好きな事だけをさせてもらえる状況にありません。齢だけは順調にとっています。

元気なつもりでいますが、疲れは早いです。寸暇をおしんで遊んでいます。

徳方 宏治

世界史の話をしたり、書いたり、フリースペースあかねをの

ぞいたり、畑で野菜を作ったり、おかげで、とてももて余す、ということはない日々です。

中村 清子

定年退職して3年目です。7月末には7人目の孫が生まれているはずです。

絵本読みきかせボランティアをはじめ趣味に家事に忙しい毎日です。

難波 一夫

相かわらず相談ネットワークで「現役」しています。

西村 晴江

所用があつて残念ながら今回は参加できません。ご盛会をお祈りいたします。

難波 欽子

この季節は自然体験リーダー養成講座の準備で多忙です。自然と子ども達をつなぐ大人を少しでも養成したいと、小学校、幼稚園、保育園の方々もまき込んでいます。自分の力量不足を感じています。

花房 英利

7月で非常勤講師生活も終わりです。その後の生活が見通せません。

林 哲士

農作業に追われていて欠席します。前の会員名簿（2015、10月）の電話番号がなぜか違っていました。

*事務局のミスでした。正しくは 086-284-3531 です。

服部 仁壽

足が思うようにならず、歩行困難になっています。

三村 茂

毎日何回も野菜畑を見回ったり、料理を作ったりして楽しく過ごしています。その合間をぬって、趣味で一般相対論も楽しんでいます。10年ぐらいで仕上げたいですね。

峰松 義夫

高齢で身体不自由。欠席お許しください。

森下 弘道

安倍政権の暴走は許せません。うそとごまかし詭弁にはほとんどくたびれます。

山本 繁幸

3月末で教員生活に終止符を打ちました。4月から町内会長を仰せつかり、その仕事と農作業で結構忙しくしております。

山本 和弘

退職四年目です。在職中の脳動脈瘤、退職直後の肺癌、去年の大腸憩室出血など、大小の思いがけない入院も経験しながら、まずは無事に暮らしています。

今年は、週一度のアルバイトのほかは、高退教（事務局）と年金者組合（支部）のお手伝いくらいが、社会的活動といえるもので、ひたすら「日々心楽しく」をモットーに、おもむくままの自適生活を心がけているところです。

八木 和一

病院通い、診察券6枚、薬手帳分厚く、何事も身体と相談しながらの生活です。総会に出られるのもあと何回か、できる間に出ようと思っています。会員の皆様もどうぞご健勝で。

横田 春美

・いつの機会にも訴え続けています。この会の見出しは「岡山高退教」「岡山県高校、支援学校退職教員の会」（障害児学校とは最近訂正されています）

* 昨年の総会で論議しました。障害児学校の中で、かつての養護学校のみが支援学校に変更されましたが、盲学校・聾学校の名称はそのままで。会の名前を「支援学校」に変えたのでは全体を表せないで、今までのままということが了承されました。（事務局）

・6/11(土)於まきび会館にて高・

行・東西総会に参加。だんだんと知人の顔が見られなくなった感深く、健康第一とつくづく感じました。参加者はみなさん老いても「はつらつ」気分でした。

横田 廣太郎

昨年は所用で欠席いたしました。今年も出席できますので、よろしくお願い致します。

米山 伯治

智頭町へはお世話になりました。。会費は郵便局ATMで送金します。

これからもよろしくお願い申し上げます。

和田 知恵子

「子どもの権利条約・岡山」の活動に参加しています。やはり教育関係の活動が面白いと感じています。今、国連に送るカウンターレポートを作成するための準備をしています。

鷺見 勝由

田舎に引越しました。岡山が遠くなりました。

*会員名簿は

倉敷市西尾 145-1 となっています。

(新住所)

〒719-1152 総社市見延 887-1

花田 千春

家族、両親の体調を支えながら、地域であれこれお世話係をしています。ヨガとフラダンスをはじめました。

*返信おしくて申し訳ありません。

備南支部

岩佐 仁志

平和・民主主義を守るとりくみに積極的に尽くされており、私も一員として参加したいと思っています。

石川 昌宏

年金生活者になりました。週3日の非常勤講師をしています。

石井 淳平

一昨年食道ガンが見つかり 2年がかりで完治できました。夜間の外出が困難になりましたが、何とかがんばっています。

稲田 裕彦

今年も欠席させていただきます。総会の盛会を祈念いたします。

春・夏・冬の青春十八切符の旅。(京都・大阪・神戸の美術館巡りが主です)

5~6月のヨーロッパ旅行。(今年はオランダ~北ドイツハンザ都市を周遊しました。どの街で

もナチス時代、第二次大戦、戦災、ユダヤ人迫害の展示がありました)

11～12月の台湾・中国の旅(戦前・戦中の日本人遺跡を訪ねています)

平常は晴耕雨読、病院通い、時々演奏会(フルート)の生活です。

犬飼 繁

安保法廃止を求める岡山訴訟の原告になりました。「おかやま いっぽん」の賛同者になり、統一候補、黒石健太郎氏の支援を微力ながらやっています。参院選での勝利をめざして共に頑張りましょう。

岡本 和子

5年前に骨折して車椅子の生活になりましたが元気ですごくしております。

鴨川 恵美子

体調は、よくも悪くもならず、現状維持で落ち着いていますが、外出は専ら友人のアッシーに助けられています。目下終活中、その一つ、40歳で車の免許を取り、44年間ハンドルを握りましたが、先日、警察署の友人の援助で出かけ、無事免許証を返上しました。わが家の駐車場がカラになりました。介護保険は支援2、週2回デイケアーに送迎、ちょっと

気忙しいです。

小山 公子

「アベ政治を許さない」街頭宣伝行動などに参加しています。

9・19戦争法廃止街頭宣伝行動にも参加しています。弱くなった足腰をかばいながら。

正保 宏文

貯金なし、働く意欲全くなし。週に1回程度、ボケ防止のため福山に登り、高梁川の流れを見て満足しています。そして時々、額に汗しながら、野菜作りに精を出しています。

武田 昭一

相かわらず絵を描いています。

濱越 唯利

安倍政権が戦争法を強行採決してから、その廃止をめざした取り組みに明けくれています。多忙な日々が続きますが、ねばり強く取り組まなければと思っております。

平松 芳子

お世話になっております。相変わらず夫の看病に忙しくしています。

定期総会の成功を祈念しています。

藤原 斌

総会案内の作業の中に、2016

年度会費の振込用紙の印刷があります。その中の一枚に私の名前がありました。私も年会費の会員になりました。退職して11年も過ぎたのだと、時の過ぎる速さに驚きました。

相かわらず専門学校の非常勤講師、「源氏物語」講座の講師などと忙しく過ごしています。

3月の備南支部交流会では、私が古典講座や源氏物語の講座に関わりだしたこと、源氏物語の魅力などの話をさせてもらいました。

村上 収

リハビリのため毎朝、歩行器で散歩を楽しんでいます。

山縣 武次郎

児島9条の会に参加し、統一行動にはスタンディング。「アベ政治を許さない」と。60年「安保」世代の最後のたたかいか？

山本 昇

肺切除により酸素吸入を常時しなければなりません。通院しています。

依田 清

所用があって出席できません。今年の後期高齢者に仲間入り。何事もマイペースと行きたいのですが教育教養（今日行く今日

用）が身から離れられません。だから元気でおられるのかもしれませんが。

旭東支部

池上 貴久雄

岡山高退教は教職退職後の拠り所となっている。長男夫婦は隣の県の高校職員。毎日遅く帰宅し、土・日の勤務もあたりまえみたいになっている。心身が定年までもつことを願っている。

一国の総理大臣のまやかしの言葉“一億総活躍社会”がまかり通るなんて？！

井上 進夫

今年も元気で参加させていただきます。

岡崎 秀穂

研修旅行写真ありがとうございます。ありがとうございました。

鈴木 三枝子

いつもお世話になっています。会費を納めさせていただきますが、近くの⑤にATMがありません。お許してください。

*事務局からたびたびお願いしていることについて、お気遣いいただき申し訳ありません

山本 明郎

体力の衰えが目立ち、疲れや

すいので無理をしないよう何かとやっています。

吉永 隆光

81歳の半ば、体調整わず、残念ですが欠席いたします。NPO法人「おかやま人權研究センター」の雑誌No.242(6月号)に国民学校(小学校)に昭16~昭22年に通った体験から『戦争中の国民学校教科書の実相(その1)』を掲載しました。神:天皇のために身を献げることが最大の名誉であることをたたき込む教科書でした。あわせて儀式が貫徹。

そのキーワード

教育勅語(天皇と国家の命令にだけ従う教育)、君が代、日の丸(国旗)、靖国神社、大東亜共栄圏の建設—聖戦、超国家主義=ナショナリズム、八紘一宇、軍国主義、防衛

今や政権の見解を教科書にと検定の強化、戦前に逆戻りしています!

備西支部

浅野 秀夫

「戦争遺跡に学ぶ見学ツアー」に申込み、3月大久野島島に行った。大久野島は広島県竹原市の沖合にあり、旧日本軍が毒ガスを1929年から1944年まで製造した島。毒ガス工場発電所跡、貯蔵庫跡…見学。日本が犯した戦争加害の事実をしっかりと教えて

くれた。現在この島は700羽のウサギが遊ぶ楽園としても知られ、立派な休暇村もある。

井上 了

今のところ元気で暮らしております。

盛会をお祈りします。

岡本 チェ

あちこち小さな不調がありますが、元気です。食事の用意に時間がかかって、草取りまで手がまわらず、花いっぱいイングリッシュガーデンになるはずのところが草むらになりました。

木村 信行

非常勤講師をしながら、なんとか生きています。

佐藤 美加恵

お世話になりありがとうございます。退職してからもう10年すぎたんだとおどろき、元気でおらせてもらっている事に感謝しています。孫達のお世話のお手伝い、月2回ほどのボランティアで大声で歌ったり、瀬戸内市アマチュア人形劇団の仲間に入れてもらい、人形づくり、人形劇の公演に参加、などと楽しませてもらっています。今年も8月20~21日、2日間行われる瀬戸内市喜之助人形フェスティバルに向けて練習しています。皆

様もぜひ一度、瀬戸内市内の熱い「人形フェスティバル」を見においで下さい。

清水 親義

昨年から無肥料栽培用の種で野菜作りをしています。初めて大きな大根の収穫ができて喜びました。今年は白菜に挑戦してみようと思います。今育てているのはキュウリとトマト、ナス等の夏野菜です。

武田 芳紀

返信が遅れました。退職後に入った岡山理科大学科学ボランティアセンター勤務も6年目に入ります。この度、同センターの同僚高見寿先生（もと操山高校など）の監修（編集）の『おもしろ実験研究所』という本が出版されました。山陽新聞に同名で連載された記事を集約したものです。私はじめ、同センターの同僚なども記事を寄せています。

（私は「タンポポ綿毛のドライフラワー作り」を担当）定価1000円＋税です。よかったら手にとってみてください。〈たのしい科学実験の普及により「理科離れ」をくいとめる〉という我々の日頃の願いがこもった本です！なお、『人権21』の連載も引き続き行っています。

滝澤 紀子

当日は先約があり参加できません。いつもお世話くださりありがとうございます。ご盛会をお祈りいたします。

西 功

3月で講師をやめました。趣味であるコーラス、演劇鑑賞、ボランティア等で忙しくやっています。

藤沢 雅

大変な時代になりました。政治の力の無力、無責任を強く感じています。不安・不満のつるばかりですね。

文屋 泉

退職して5年、いろいろな面で余裕のある充実した日を送っています。聞き書きと日本語ボランティア、趣味の山登り、三味線に忙しくしています。

備北支部

相木 トシ子

いつもありがとうございます。元気で過ごしています。

荒木 克馬

何とか元気に過ごしていますが、人の世話になるばかりです。

加百 靖典

勝手ながら欠席させていただきます。

難波 誠

居合道の大会があります。残念ですが今年は欠席します。

逸見 健治

地区の夏祭りに参加のため欠席します。盛会をお祈りします。

土日は行事が多くて出席できません。

逸見 良安

参議院選挙で自公政権に大喝を入れましょう。

三輪 峯

募金などで、郵便振込用紙で行うことが多いですが、郵貯ダイレクト(=ネットバンキング)も利用できたらありがたいです(郵便局が遠いので)

宮田 靖子

年齢なみの健康状態です。皆様のご活躍をお祈りいたします。

山本 浩

果樹栽培を頑張っています。でも天候との勝負ですから大変です。晴耕雨読というところですか。総会も農作業ができないくらいの降雨だと出席できますが…当日の朝の天候次第です。

岡本 忠

近年、総会に参加できておらず、縁遠くなるのが気になりますが、一応元気しております。

近況は、咲く縁と全く同じで、倉敷昆虫館勤務は12年目となり、引き続き年金者組合、知育老人クラブの役員をしながら、野菜作りにも励んでいます。

美作支部

安東 玲子

いつの間にか85才になってました。今は、野菜作りは専ら収穫係と調理係。足腰が弱ってきますが一応元気です。

産賀 俊治

津山9条の会の活動など、忙しくしています。

小川 憲一

当日は所用がありましてやむなく欠席します。ご苦労様です。

河井 凡

2016,3月末で教員生活にピリオドを打ちました。2016,4月より40年ぶりの学生生活をスタート、岡山まで毎日津山線で通学しています。若い人たちに交じって学んでいます。セカンドキャリアに繋がるのか、単なる年寄りの道楽か…

6月上旬に怪我をして出席できません。ご盛会をお祈りいたします。

杭田 利晃

年金問題を基盤にしながら美咲町で地道に生きてます。

高階 重和

今年も稲作をやってます。余命のある限り、平和憲法を守ります。

ご盛会を祈ります。

竹内 平吉郎

お世話になっております。他用と重なり欠席します。すみません。

病院と仲良くしながら、各地を旅行するのを楽しみにしております。また各地の祭や芸能調査に出かけております。今、富山、新潟に来ております。来週には帰り、また病院に行きます。便利の悪い島々に行くことが多いです。

垂井 一新

自宅前に流れている中谷川、河川敷にホタルが飛び始めました。今年は数が少なく数えるほど。日中が大変暑くなってきたので外仕事は午前中で切り上げ、午睡をして夕方ちょっとだけ汗をかく。毎日が草との闘いのようです。がんばりすぎないように心がけています。6月14日後期高齢者群に突入しました。

友直 久徳

7月10日だったら参加できたのですが、7月3日は将棋大会のため参加できません。私は今68歳で旭川荘あおばというところで知的障害者と一緒に竹炭や竹酢液を作って販売しています。

竹炭は健康によく、田畑の土壌改良にも最適です。竹酢液はキャップ2杯風呂に入れると気持ちよいです。もし購入を希望される方がいましたらご連絡ください。

則本 加壽恵

ご案内をいただきながら不参加で申し訳ありません。退職して6年。ゆっくりのんびり過ごしています。

盛会をお祈りします。

中西 孝

7月10日まで、微力ながらアベ自公政権の過半数割れをめざして、津山の地でがんばっているところです。

諸兄のご健康とご多幸を祈っています。

目瀬 信昌

農作業（田 2反、畑 2畝）の他、趣味の短歌（作歌と鑑賞）と社交ダンスを楽しんでいます。

道信 温子

フォレストという歌手のグル

ープを追いかけています。テレビで放送はBS4チャンネルで月曜日午後9時からです。ライブの公演も各地であるので行って聴きます。30代前半くらいの男性7人と女性6人で、大変よい声で歌います。6月17日は大阪です。生き甲斐です。

道信 千昭

生きているだけの存在になり

ました。

去年から今年にかけて5カ月入院しました。

和田 誠也

住所が変わりました。

(旧)津山市南新座100

(新)津山市南新座82

**75 通のお返事がありました
ありがとうございました。**